

## 【同窓会報告】

## 58 回生 卒業 30 年の同窓会

白砂 美智代

秋の色を漂わせ始めた平成 26 年 10 月 18 日、ホテルセントノーム京都にて、卒業から 30 年目の同窓会を開催、学会や同窓会の多い時期だけに先生も都合がつかず、参加者は同窓生のみ 24 名となりました。

乾杯の後、各人の現況報告を聞けば、公私共にみな忙しく活躍している様子で話が止まりません。最近農業を始めたといい辻北君、自ら育てたおいしい黒豆を持参されました。今回奥様同伴の石山君、奥様には皆の冷やかさに耐えていただきありがとうございました。忙しいスケジュールの中参加してくれた杜下君、最後までいられなくて残念。私などは 2 年前に孫が生まれて××一番乗り。〇〇君はどうしてる？、□□君は元気か？、太った、老けた、おまけに持病の話でも盛り上がり、話も尽きぬまま宴は終了。その後は 2 次会へと流れて行ったようです。

子曰く、吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知る。六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従いて、矩のりを踰えず。それぞれ、志学(しがく)、而立(じりつ)、不惑(ふわく)、知命(ちめい)、耳順(じじゅん)、従心(じゅうしん)、と呼びます。我々も 18 年そこそこでこの学校に入学、放射線を学び、職に就き、結婚し、子を育て、未熟ながらも知命の年となりました。仲間が集まると、すぐに仕事の話になります。みんな仕事が好きなんだと思います。この学校でみんなに出会えたことに感謝しています。京都放射線技術専門学校、京都医療技術専門学校、これからも、共に励まし、助け合って、四方山話を肴に酒を飲みましょう。

今回の同窓会は、5 年後ということになっていますが、「もっと早くにしよう」との提案もあり、今回参加してもらえなかった方にも会いたいとの思いから早めに開催していただけるようです。関西の有志では半年毎に飲み会してます。顔を出してみようと思う方は連絡してください。

今回、中心幹事してくれた松元君、北橋君、ありがとう。関西の飲み会もいつもお世話になりっぱなしです。次もよろしく願います。



以上